226

この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり４本

試読・購読はこちらから

2024年9月1日号　　編集／毎日新聞社カスタマーリレーション本部

迫る

ゲームの常識を変えた『桃鉄』

1日（日）＝1、3面

１９８８年に「ファミリーコンピュータ」向けに第１作が発表された「桃太郎電鉄」。「桃鉄」の愛称で、世代を超えて親しまれてきた名作ゲームです。

昨年１月、学校など教育機関に向けて「教育版」が提供されると、わずか１年半で１万校以上が手を挙げるすさまじい反響となりました。

人気ゲームが教材に？もやもやした思いで記者が教室を訪れると、子供たちがタブレット端末にかじりつき、みんな時間を忘れて没頭していました。教師も「桃鉄効果」に目を見張ります。「テストでは測ることができない子供たちの探究心を伸ばしてくれる。そんな魅力がある」

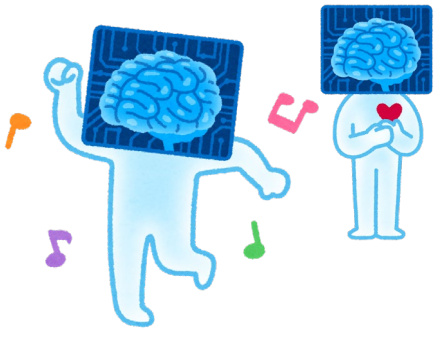
教育版が生まれるきっかけは、ある人からの「だめもと」の依頼でした。実現には、桃鉄の生みの親であるゲームデザイナー、さくまあきらさん＝**写真**＝の思いや、子供時代に桃鉄で遊んで育った教職員や保護者の熱意がありました。さまざまな人の思いが鉄路のように連なっていく。桃鉄をめぐる不思議な物語をたどります。

そこが聞きたい

躍進する女子ゴルフ　小林浩美会長

1日（日）＝くらしナビ面

世界のプロゴルフ界で、日本の女子選手が活躍しています。今年の海外メジャー大会では、笹生（さそう）優花選手が全米女子オープンで２度目の優勝を果たしました。さらに山下美夢有（みゆう）選手が全米女子プロ選手権で２位、古江彩佳選手はエビアン選手権を初めて制しました。躍進の理由などについて、日本女子プロゴルフ協会の小林浩美会長＝**写真**＝に聞きました。



論点

AI活用芸術の是非

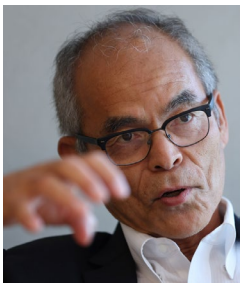
4日（水）＝オピニオン面

生成ＡＩ（人工知能）を駆使して、文化芸術のさまざまな作品を製作することが可能な時代が到来しました。芸術の創造にＡＩを使うことは果たしてよいことなのでしょうか。そして、私たちはＡＩとどのように向き合うべきなのでしょうか。映画監督、翻訳家、作曲家と、それぞれ違うジャンルの専門家に考えを伺いました。

特集ワイド

「レーザー核融合」に挑む中村修二さんの秘策

2日（月）＝夕刊2面



10年前、青色発光ダイオード（ＬＥＤ）の開発でノーベル物理学賞に輝いた中村修二さん（70）＝**写真**＝が、新たに、「夢のエネルギー」と期待される核融合に挑んでいます。「原動力はアンガー（怒り）」といってはばからない「異端の科学者」には、秘策があるのだといいます。「やってみせますよ」と自信満々ですが、果たして勝算はあるのでしょうか。記者が直撃しました。

竹橋の窓辺から

編集後記

毎日新聞社は９月18日、オンラインイベント「毎日新聞×ＴＢＳラジオ『クイズで知る２０２４年上半期』」を開催します。折しも９月12日はクイズの日。そこで、記憶を蘇らせるのにうってつけのクイズを使って、今年のニュースをもう一度考えるイベントを企画しました。ニュースの舞台裏、取材秘話、クイズ番組の裏側から、良い問題の作り方のうんちくまで。脳が活性化すること間違いなし。ぜひご参加ください。（長尾真央）

毎日新聞

※8月25日号の「この記事がすごい！」で掲載した「なるほドリワイド　新幹線の荷物輸送はいかに」は、紙面事情により掲載日が9月1日付に変更となりました。